

令和2年度第4回八街市地域公共交通協議会 議事録

開催日時	令和2年11月17日(火) 13:30~15:30
開催場所	総合保健福祉センター3階 大会議室
参加人数	26名
	<p>1. 開会</p> <p>2. 副市長挨拶</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 八街市地域公共交通協議会会長の選任について</p>
事務局	<p>本協議会の会長については、八街市地域公共交通協議会規約第5条の規定により、委員の皆様による互選にて選出していただくこととなっております。委員の委嘱後、最初の協議会となりますので、今回新たに選出していただくものでございます。</p> <p>以上、議題1「会長の選任」について説明を終わらせていただきます。</p> <p>(進行)</p> <p>それでは、八街市地域公共交通協議会規約第5条の規定により、委員の皆様の互選となりますが、選出方法につきましてご意見はございますか。</p> <p>(事務局の考えで如何の声)</p>
事務局	<p>ただいま、事務局一任との意見がございましたが、会長には本市の副市長に例年就任していただいておりますので、今回についても副市長にお願いしたいと存じますが、皆様いかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
事務局	<p>それでは、会長には橋本副市長にご就任いただきたいと思います。</p> <p>会長席へ移動をお願いします。</p> <p>なお、本協議会規約第6条及び第15条に則り、会長から副会長1名及び監査委員2名を指名いただきたく存じます。</p>
橋本会長	<p>会長に選出いただきました副市長の橋本でございます。</p> <p>早速ですが、事務局からありましたように、副会長1名及び監査員2名を指名させていただきたいと思っております。</p> <p>会長の指名ということですので、例年にならい、本日ご欠席ですが、副会長には「日本大学理工学部 教授 轟委員」に、監査委委員には、「社会福祉協議会 会長 石毛委員」、「八街市区長会長 清水委員」の2名にお願いしたいと思います。</p> <p>ご協力よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、次の議題に入りますので、協議会の円滑な進行にご協力をお願いいたします。</p>

	<p>(2) 八街市地域公共交通網形成計画における目標達成状況について (事務局 資料説明)</p>
橋本会長	<p>ただいま説明がありました、八街市地域公共交通網形成計画における目標達成状況について、質疑はございますでしょうか。 また、現在の路線バスなどの状況は如何でしょうか。</p>
委員	<p>少子高齢化の影響で子どもの利用が減っている。住野線についても、コロナの影響で大変厳しい状況である。ピークに比べ3割位減った。通勤、通学、通院などが減っている。</p>
委員	<p>八街線は、ほとんど東金商業高校、千葉学芸高校の利用である。日中はほとんど利用者がいない。走れば走るほど赤字になる。その他の路線バスは、3割位減っている。全体的に、厳しい状況である。</p>
橋本会長	<p>やはり、コロナ前の利用客が戻ってくるのは厳しい状況であるのは理解できました。 利用者の声も聞きたいのですが、市民公募の委員の方は何かご意見などありますでしょうか。</p>
委員	<p>沖在住で自宅からバス停まで約1キロほどある。八街総合病院まで行きたくても、乗り換えなどあり、時間がかかってしまうので、自家用車で行っている。バスが利用したくても利用出来ない。沖はバス停があるが乗っている人が少ない。</p>
委員	<p>駅に近いバスを使うことはあまりない。だが、成田駅に行くときに住野線はたまに使う。ふれあいバスの南コースに1度乗った。なぜ、このようなところを走るのかと思った。ふれあいバスは大事だと思うが、使う人がいなければ走らせられない。バスが使いたいなら地域の人で集まり、ここにバスが必要であると利用者で支えなければならないのではないかと。提供する方は、細かい事までは分からない。利用者側から提案がなければならぬ。例えば、長野県伊那市のぐるっとタクシーのような地域で支えるような仕組みの導入はどうか。 地域公共交通協議会では、ふれあいバスだけでなく鉄道、タクシー、路線バスなど一体化して考えなければならないのでは。誰のために、何のために交通網を整備していくのか、根本的なところから考えていかなければならないのでは。 資料①の中で、路線バスのダイヤの整理とあるが、市で民間路線バスの運行ダイヤを整理出来るのか。</p>
事務局	<p>課題として、ふれあいバス、民間路線バスとの乗り継ぎ利便性の向上というものがあるので記載させていただいた。実際には、民間路線バスの事業者様の考え方もありますので、協議会として議論させていただければと考えている。</p>
委員	<p>国勢調査の調査員を担当し、希望ヶ丘地区を担当したがいかに高齢者世帯が多いか感じた。回る中で、ふれあいバスについて聞いたが、停留所まで遠いので病院などまでは、高齢者外出支援タクシーを利用されていると話があった。 ふれあいバスが使えない人向けの施策としてデマンド交通は使えないのか。ふれあいバスとデマンドの共存ができないか考えた。だが、デマンドは成功事例、失敗事例がある。そこで長野県豊丘村の福祉施策のタクシー補助の導入がよいのではないかと。 協議会でも検討できないか。</p>

	<p>(3) 八街市地域公共交通計画策定に係る各調査結果について (事務局 資料説明)</p>
橋本会長	<p>ただいま説明がありました、八街市地域公共交通計画策定に係る各調査結果について、質疑はございますでしょうか。</p>
委員	<p>高齢者外出支援タクシーについて、市の財政負担が増えているのであれば、利用者が初乗り運賃を負担する(それ以外は、自治体負担)長野県の取り組みを取り組んではどうか。市の財政負担を減らせるのではないか。また、この制度なら枚数制限なく何回でも行けるのではないか。</p>
委員	<p>タクシー料金について。なぜ八街駅から南部まで5, 6千円もかかるのかが素朴な疑問である。ふれあいバスの増車も良いと思うが、あえて北から南まで1本通してはどうか。1本通せば、乗り換えなどしなくても良いのではないか。今までは、こうだったからというような考えではなく、新たな発想をもてないか。 以前、北コースを小学生が使いたいが、始まる時間よりも早く着くから時間が遅らせてくれというような意見があった。だが、駅に到着する時間が遅くなる。このように、ふれあいバスが誰の何のために走らせるのか、もう一度考えて検討して欲しい。この話は、大分前の話になるが議長はこの話を引き継がれているのか。このような話も是非引き継いでいって欲しい。</p>
委員	<p>今年の6月に着任した。今の時代、お年寄りにはバス停まで歩けない。可能な限り、自由乗降にできないのか。茂原(乗り継ぎ券、乗り継ぎしやすいダイヤ設定)では乗り継ぎ利便性を高めているので八街市ではどうか。八街市もふれあいバスとデマンド交通で地域を分けて運行してみるのはどうか。利用者の利便性を考えて導入してはどうか。</p>
委員	<p>八街市では運転免許の自主返納に対するコミュニティバスの特典を検討されてはどうか。佐倉市では、コミュニティバスの割引をしている。</p>
事務局	<p>当市では高齢者(65歳以上)の運転免許証自主返納者に対し、コミュニティバスの乗車券を渡している。</p>
橋本会長	<p>議題全体を通して、質問等、その他ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>八街線(九十九里鐵道)の走っていない時間で、ふれあいバスを走らせる可能性はないか？</p>
委員	<p>バスは幹線しか走れない。細かな路線については、デマンド交通が適当ではないか。</p>
橋本会長	<p>(質疑なし) 特にないようですので、これで議題を終了し、その他に移ります。</p>
	<p>4. その他 ・地域公共交通確保維持に向けた勉強会について(報告) (事務局 資料説明)</p>
	<p>5. 閉会</p>